

母校に油絵2点と画集を寄贈

[令和4年]

関東支部(埼玉県)在住の昭和35年土木科卒業の近藤征治様より、母校に絵画2点と美術関係の本(画集)を寄贈していただきました。

近藤様は幼い頃から絵を描くことに喜びと幸せを感じ、小学生のときは、帰宅後裏庭の灯籠と老梅木を描き続けたとのこと。一番感受性の強い高校生から26歳までの10年間は絵筆を握られなかったとのことですが、結婚後は奥様の応援もあり、連れ立って風景や草花を描き、鉛筆スケッチや油彩を楽しんでいます。お子様達が成長され、心に余裕が出来てきた頃に、宮本画伯をはじめ多くの画人との出会いもあり本格的に取り組まれています。

今回寄贈された作品は、平成29年(2017年)作の「筑後川慕情(投網漁)」と「有明海慕情(クモデ漁)」の2点(ともに80号)です。本館玄関から入り、右側の2階に続く階段踊り場に展示されています。

また、ご自分が所蔵されている美術関係の本(画集)も寄贈され、学校図書館の生徒閲覧室に置かれています。



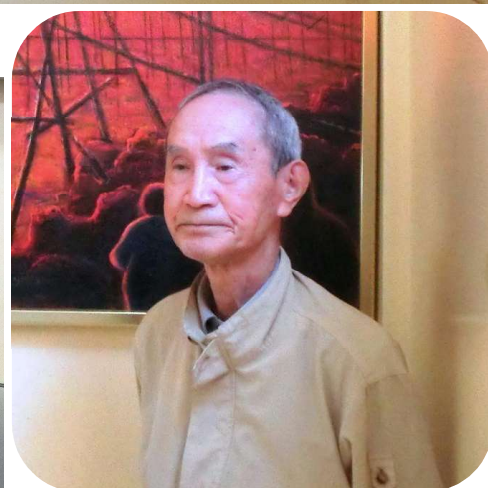
寄 贈

「筑後川慕情(投網漁)」

近藤 征治 (昭和35年土木科卒)



寄贈された美術関係の本



令和4年11月16日、近藤征治様が母校を訪問されました。写真はそのときのものです。学校より、感謝状が贈られました。今後のご活躍とご多幸を祈念いたします。